



平成26年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成26年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 三井造船株式会社

コード番号 7003

URL <http://www.mes.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 孝雄

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 中村 潔

TEL 03(3544)3225

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	441,275	9.2	17,261	△9.6	22,444	19.7	10,507	26.5
25年3月期第3四半期	404,013	1.5	19,089	△6.4	18,754	△14.7	8,306	△32.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 23,275百万円 (219.3%) 25年3月期第3四半期 7,290百万円 (△27.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第3四半期	12	70	12	69
25年3月期第3四半期	10	03	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	702,080	27.5	228,879	27.5	—	—
25年3月期	660,397	26.6	207,313	26.6	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 193,036百万円 25年3月期 175,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	0 00	—	3 00	—	3 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—	—
26年3月期 (予想)	—	—	—	2 00	—	2 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	680,000	17.8	16,000	△33.3	17,000	△35.0	7,000	—	8	46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	830,987,176株	25年3月期	830,987,176株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	3,626,255株	25年3月期	3,511,778株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	827,413,434株	25年3月期3Q	828,004,060株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では緩やかに回復しており、欧州経済にも下げ止まりの兆しが見られるなど概ね堅調に推移しております。国内経済については、円安・株高傾向の定着、企業業績の好調さに伴う設備投資の増加及び雇用の拡大等景気回復が鮮明になりつつあります。

このような状況下、当社グループは、経営環境が大きく変化を遂げる中、経営課題にスピード感をもって対応しなければならない今がまさに正念場という認識のもと、14中計（2014年度から2016年度までの中期経営計画）を前倒しで策定いたしました。

14中計では、2017年の当社創立100周年に向けて「新たな100年の礎を築く」をキャッチフレーズとして、「持続的成長と収益安定性を兼ね備えたバランスの取れた事業ポートフォリオの実現」を目指しております。ありたい姿を達成するため、(1) 製造事業の変革 (2) エンジニアリング事業の拡大 (3) 事業参画・周辺サービス事業の拡大という3本の戦略の柱と (4) 経営基盤の強化からなる基本方針を策定し、グループ総合力やグローバル展開による事業拡大のための体制構築に取り組み、事業領域の変革とビジネスモデルの変革を推し進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の受注高は、船舶海洋部門の子会社において大型プロジェクトを受注したことなどにより、前年同期と比べて2,475億38百万円増加の5,333億90百万円となりました。

売上高は、船舶海洋部門及びエンジニアリング部門が伸長したことなどにより前年同期と比べて372億62百万円増加の4,412億75百万円となりました。営業利益は、主に機械部門が減益となったことにより前年同期と比べて18億28百万円減少の172億61百万円となりました。経常利益は、営業利益が減少したものの為替差益及び持分法による投資利益が増加したことなどにより前年同期と比べて36億90百万円増加の224億44百万円となりました。四半期純利益は、前年同期と比べて22億円増加の105億7百万円となりました。

報告セグメント別の状況は次のとおりです。

(船舶海洋)

受注高は、FPSO（浮体式石油生産貯蔵積出設備）の建造工事及びオペレーションサービスを新規受注したほか、ばら積み貨物運搬船などの一般商船が増加したことなどにより、前年同期と比べて1,866億64百万円増加の3,176億40百万円となりました。売上高は、ばら積み貨物運搬船、FPSOなどの建造工事を中心に前年同期と比べて163億65百万円増加の2,499億17百万円となり、営業利益は、前年同期と比べて16百万円増加の95億88百万円となりました。

(機械)

受注高は、国内外ともに需要の旺盛なコンテナクレーンやアフターサービス事業などが増加したことにより、前年同期と比べて19億33百万円増加の698億54百万円となりました。売上高は、コンテナクレーンが増加したものの、船用ディーゼル機関、産業用機械などが減少したことにより前年同期と比べて54億53百万円減少の1,013億53百万円となり、営業利益は、前年同期と比べて20億81百万円減少の75億8百万円となりました。

(エンジニアリング)

受注高は、海外向け化学プラントや子会社による発電設備の受注が大幅に増加したことなどにより、前年同期と比べて523億44百万円増加の1,220億80百万円となりました。売上高は、化学プラント工事や子会社の発電設備工事が進捗したことにより、前年同期と比べて253億98百万円増加の711億98百万円となりましたが、営業損失は前年同期と比べて6億2百万円増加し、9億54百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ416億82百万円増加の7,020億80百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が183億83百万円、仕掛品が69億31百万円及び投資その他の資産のその他が222億31百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が113億13百万円減少したことなどによりです。

負債は、支払手形及び買掛金が102億68百万円、前受金が40億38百万円及び有利子負債（リース債務を除く）が191億57百万円それぞれ増加した一方、未払法人税等が39億49百万円、流動負債のその他が43億21百万円それぞれ減少したことなどにより前連結会計年度末と比べ201億16百万円増加の4,732億1百万円となりました。

純資産は、四半期純利益及び為替換算調整勘定などの増加があった一方、配当を実施したことなどにより前連結会計年度末と比べて215億66百万円増加の2,288億79百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月28日に公表した「連結業績予想の修正に関するお知らせ」から、売上高及びセグメントの業績見通しを次のとおり変更いたします。

船舶海洋部門において、工事の進捗増加及び円高修正による影響などから売上高を上方修正いたします。営業利益は、増収効果や実績等を反映して増益を見込みますが、想定為替レートを据え置くことなどにより増益幅は第3四半期に比べて減少するものと予想しております。

エンジニアリング部門においては、受注が遅れている案件について業績への影響を見直したことに加え、一部工事の採算悪化が見込まれることなどから売上高、営業利益ともに下方修正いたします。ただし、その他部門での増益を見込み、全体では営業利益、経常利益及び当期純利益につきまして前回予想を据え置きます。

なお、本業績見通しの前提となる為替レートは、平成25年4月26日に公表した1米ドル=95円から変更しておりません。

平成26年3月期 セグメント別通期連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	前回発表予想(A)		今回発表予想(B)		増減額 (B-A)	
	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 (億円)	営業利益 (億円)
船舶海洋	3,400	50	3,700	70	300	20
機 械	1,500	70	1,500	70	—	—
エンジニアリング	1,400	40	1,300	10	△ 100	△ 30
そ の 他	300	0	300	10	—	10
合 計	6,600	160	6,800	160	200	—

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,578	75,264
受取手形及び売掛金	161,089	179,472
有価証券	—	500
商品及び製品	2,816	2,615
仕掛品	31,063	37,995
原材料及び貯蔵品	8,475	6,396
その他	66,274	66,209
貸倒引当金	△2,707	△3,261
流動資産合計	353,590	365,193
固定資産		
有形固定資産		
土地	105,482	104,887
その他（純額）	86,444	94,070
有形固定資産合計	191,926	198,958
無形固定資産		
のれん	4,648	4,762
その他	7,215	7,169
無形固定資産合計	11,863	11,932
投資その他の資産		
その他	104,390	126,621
貸倒引当金	△1,372	△625
投資その他の資産合計	103,017	125,996
固定資産合計	306,807	336,886
資産合計	660,397	702,080

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,160	146,429
短期借入金	11,809	13,009
1年内返済予定の長期借入金	35,961	29,680
未払法人税等	7,653	3,703
前受金	54,073	58,111
保証工事引当金	5,962	5,554
受注工事損失引当金	10,649	8,891
その他の引当金	4,149	2,169
資産除去債務	34	—
その他	35,591	31,270
流動負債合計	302,046	298,821
固定負債		
社債	25,000	30,000
長期借入金	75,486	94,725
退職給付引当金	5,487	5,749
役員退職慰労引当金	663	30
その他の引当金	1,398	884
資産除去債務	1,109	1,112
その他	41,891	41,878
固定負債合計	151,037	174,379
負債合計	453,084	473,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,384	44,384
資本剰余金	18,178	18,178
利益剰余金	95,549	103,862
自己株式	△743	△764
株主資本合計	157,368	165,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,263	8,818
繰延ヘッジ損益	△4,558	△3,538
土地再評価差額金	22,966	22,595
為替換算調整勘定	△6,350	△447
在外子会社の退職給付債務等調整額	△68	△51
その他の包括利益累計額合計	18,253	27,375
新株予約権	—	44
少数株主持分	31,690	35,798
純資産合計	207,313	228,879
負債純資産合計	660,397	702,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	404,013	441,275
売上原価	354,620	392,192
売上総利益	49,393	49,082
販売費及び一般管理費	30,304	31,821
営業利益	19,089	17,261
営業外収益		
受取利息	1,234	2,080
受取配当金	802	832
持分法による投資利益	1,038	2,614
為替差益	—	2,416
その他	1,040	2,230
営業外収益合計	4,116	10,174
営業外費用		
支払利息	1,570	1,821
退職給付会計基準変更時差異の処理額	1,473	1,473
その他	1,407	1,695
営業外費用合計	4,451	4,990
経常利益	18,754	22,444
特別利益		
固定資産処分益	4	1,167
投資有価証券売却益	1,020	6
国庫補助金	—	800
特別利益合計	1,025	1,974
特別損失		
固定資産処分損	267	356
減損損失	360	1,629
投資有価証券売却損	—	0
関係会社株式売却損	118	—
投資有価証券評価損	2,138	60
固定資産圧縮損	—	800
和解金	—	752
特別損失合計	2,885	3,599
税金等調整前四半期純利益	16,894	20,819
法人税、住民税及び事業税	7,910	4,775
過年度法人税等	55	△774
法人税等調整額	△732	4,587
法人税等合計	7,233	8,589
少数株主損益調整前四半期純利益	9,660	12,230
少数株主利益	1,353	1,723
四半期純利益	8,306	10,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,660	12,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△881	2,374
繰延ヘッジ損益	△684	△231
為替換算調整勘定	102	5,118
在外子会社の退職給付債務等調整額	—	34
持分法適用会社に対する持分相当額	△906	3,749
その他の包括利益合計	△2,370	11,045
四半期包括利益	7,290	23,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,834	20,000
少数株主に係る四半期包括利益	1,456	3,274

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	船舶海洋	機械	エンジニアリング	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	233,552	106,807	45,799	386,159	17,854	404,013	-	404,013
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	176	4,727	188	5,091	965	6,057	(6,057)	-
計	233,729	111,534	45,988	391,251	18,819	410,070	(6,057)	404,013
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	9,571	9,590	△352	18,810	279	19,089	-	19,089

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産賃貸業、各種サービス業等を含めております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	船舶海洋	機械	エンジニアリング	その他	全社・消去	合計
減損損失	-	-	-	-	360	360

「全社」において、大分県大分市ほか一部遊休資産(土地)の市場価格が下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	船舶海洋	機械	エンジニアリング	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	249,917	101,353	71,198	422,470	18,805	441,275	-	441,275
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	164	4,468	22	4,655	1,057	5,712	(5,712)	-
計	250,081	105,822	71,221	427,125	19,862	446,988	(5,712)	441,275
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	9,588	7,508	△954	16,142	1,118	17,261	-	17,261

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産賃貸業、各種サービス業等を含めております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、「持続的成長と収益安定性を兼ね備えたバランスの取れた事業ポートフォリオの実現」を目的とした組織改正を行い、当社において事業開発の企画機能を各事業本部に移管しております。これに伴い、「その他」に含めておりました事業開発に係る売上、損益を他の報告セグメントに振替えております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

（単位：百万円）

	船舶海洋	機械	エンジニアリング	その他	全社・消去	合計
減損損失	1,375	-	-	-	254	1,629

「船舶海洋」において、当社における造船事業の事業環境の悪化により、将来キャッシュ・フローが事業用資産の帳簿価額を下回ることが予想されるため、回収可能価額まで減額しております。「全社」において、大分県大分市ほか一部遊休資産（土地）の市場価格が下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足資料

受注及び販売の状況

受 注 高

(単位：百万円)

区 分	当第3四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年12月31日)		前第3四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)		増減額	増減比%	前連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%			金 額	構成比%
船 舶 海 洋	317,640	59.5	130,975	45.8	186,664	142.5	413,721	62.4
機 械	69,854	13.1	67,921	23.8	1,933	2.8	115,878	17.5
エンジニアリング	122,080	22.9	69,736	24.4	52,344	75.1	108,687	16.4
そ の 他	23,814	4.5	17,218	6.0	6,596	38.3	24,269	3.7
合 計	533,390	100.0	285,851	100.0	247,538	86.6	662,556	100.0

売 上 高

(単位：百万円)

区 分	当第3四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年12月31日)		前第3四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年12月31日)		増減額	増減比%	前連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%			金 額	構成比%
船 舶 海 洋	249,917	56.6	233,552	57.8	16,365	7.0	321,354	55.7
機 械	101,353	23.0	106,807	26.5	△5,453	△5.1	145,006	25.1
エンジニアリング	71,198	16.1	45,799	11.3	25,398	55.5	85,378	14.8
そ の 他	18,805	4.3	17,854	4.4	951	5.3	25,353	4.4
合 計	441,275	100.0	404,013	100.0	37,262	9.2	577,093	100.0

受 注 残 高

(単位：百万円)

区 分	当第3四半期 連結会計期間末 (平成25年12月31日)		前連結会計年度末 (平成25年3月31日)		増減額	増減比%	前第3四半期 連結会計期間末 (平成24年12月31日)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%			金 額	構成比%
船 舶 海 洋	807,101	70.4	697,232	69.8	109,868	15.8	467,761	62.2
機 械	93,146	8.1	122,053	12.2	△28,906	△23.7	111,411	14.8
エンジニアリング	233,959	20.4	171,155	17.2	62,803	36.7	164,458	21.9
そ の 他	12,917	1.1	7,936	0.8	4,980	62.8	8,393	1.1
合 計	1,147,125	100.0	998,377	100.0	148,747	14.9	752,024	100.0